

特集

健康管理とコンピュータ



今回の特集は、「健康管理とコンピュータ」です。健康管理の分野も種々ありますが、今回は健康診断や人間ドックの分野におけるコンピュータ利用の現状や今後の話題について取り上げてみました。総合ドック（人間ドック＋総合健診）における健康管理とコンピュータについての総論を人間ドックの草分け的存在である牧田総合病院の笹森典雄氏、実際の総合健診システムについては今年の日本人間ドック学会会長を務められた広島原対協健康管理増進センターの伊藤千賀子氏、今後の重要な課題である健診情報の標準化については日本総合健診医学会総合健診施設協議会の菅沼源二氏にお願いしました。さらに、健診施設のみならず全ての医療施設で関心の高い、画像写真のフィルムレス・ファイリングについて日立メディコの服部信氏にご紹介いただきます。また、健診の診断支援システムが数多くのメーカーから出されていますが、その先端を行くメーカー各社の診断システムについての工夫点をまとめてみました。その他、眼底写真の伝送システムについての取材など盛りだくさんの内容となっており、健康管理に携わる皆様のご期待に沿える内容であると思います。

編集委員 高橋英孝

（聖マリアンナ医科大学予防医学教室講師）